

UNIXサーバー版 バージョンアップ内容 (Ver6.15R01 → Ver6.16R00)

2004年12月28日
パナソニック ソリューションテクノロジー(株)

UNIXサーバー版が Ver6.16R00 にバージョンアップされました。
変更点は以下のとおりです。

機能改善

GlobalFamily4.00対応

GlobalFamily サーバー全般	GlobalFamily Webクライアント4.00R11に対応しました。 詳細は GlobalFamily Webクライアント4.00R11のバージョンアップ内容 を参照してください。
------------------------	---

GlobalSchedule

GlobalSchedule 全般	リアルタイムコラボレーションと会議開催機能を連携しました。 詳細はGlobalFamily Webクライアント4.00R11のバージョンアップ内容 を参照してください。
----------------------	--

GlobalFlow

プロトコル up_fb30	CSV出力で、拡張出力機能を追加しました。 詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書(3.2) サーバー環境設定ファイルの変更」をご参照ください
プロトコル up_fb30	拡張XML出力内容に、これまで出力されていなかった本文内容(テキストエリアやチェックボックス等)が出力されるようになりました。 詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書(3.2) サーバー環境設定ファイルの変更」をご参照ください。
プロトコル up_fb34 up_81f970	注釈一覧に、注釈入力者の所属と役職が表示できるようになりました。なお、この機能を利用するにはGlobalFamily Webクライアント4.00R11以降と専用のテーブル(WF18)を作成する必要があります。詳細は、「ワークフロー機能設定マニュアル (2.5) 処理履歴にユーザー所属・役職を取得するためのテーブル作成方法」を参照してください。
プロトコル up_fb30	書類遂行代理者の決定タイミングを書類回付時にすることができる機能を追加しました。 詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書(3.2) サーバー環境設定ファイルの変更」をご参照ください。
プロトコル up_fb30	書類回付先ユーザーの決定タイミングを書類遂行時に再決定することができる機能を追加しました。書類が遂行されて次のインスタンスへ進むときにグループメンバー、役職者、上位者を再決定します。 詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書(3.2) サーバー環境設定ファイルの変更」をご参照ください。
プロトコル	2～5次上位者未設定時のエラー処理を1次上位者と同じ動きにできるようにしました。現在は2～5次上位者未設定時に無条件でエラーとせずスキップしていましたが、この設定を有効にすると、1次上位者

up_fb30	と同様に上位者未設定時のエラー処理を選択できるようになります。詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書(3.2) サーバー環境設定ファイルの変更」をご参照ください。
プロトコル up_fb30	否認時に否認先ユーザーに送る「否認通知と兼用した遂行依頼メール」は無条件で送付していましたが、依頼メール通知の指定に従うように機能改善しました。「否認通知と兼用した遂行依頼メール」を送るか否かの判断は、インスタンスで指定された依頼通知指定が優先され、デフォルトならばテンプレートで指定された依頼メール通知に従います。

基本機能

プロトコル up_812070 up_813070 up_81a570 up_815270 up_5472	所属グループ数が所属グループ最大バッファ数を超過しているユーザーの場合、一時的にバッファを拡張してセキュリティを正しく解決できるように対応しました。サーバー環境設定の「ファイル記憶先フォルダー」配下に一時的な拡張バッファ用のファイルを作成します。
プロトコル brup_81a570 up_81a770 up_815270 up_5472 up_5570	グループ管理者がメンバーに含まれていなくても所属グループ情報を参照できる機能を追加しました。この機能を有効にした場合、グループ管理者がグループピングコード、カレンダー、固定書式、配布コード、FAXコードを一覧表示した時にグループの所属情報が参照できるようになります。詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書(3.2) サーバー環境設定ファイルの変更」をご参照ください。
プロトコル up_812040	ユーザーパスワードの登録・更新で、文字化けチェックを追加しました。漢字コードおよび文字表示不能な半角コードをパスワードエラー扱いするようになります。
プロトコル up_811060 up_811010 up_812060 up_812061	ゲストユーザー機能を追加しました。GlobalFamilyにユーザー情報が存在していなくても、ファイルを参照することが可能になります。詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書(3.2) サーバー環境設定ファイルの変更」をご参照ください。

ユーティリティ

プロトコル up_del60	処理要求レコード(LA60)に存在する不要データを削除する機能を追加しました。不要データ削除ユーティリティup_deldlに組み込まれます。
プロトコル ck_la60	処理要求レコードに蓄積されている処理を抽出して表示する機能を追加しました。「-v」オプションで、ウイルスチェックパターンファイル更新要求のみを表示し、「-f」オプションで文書変換処理要求のみを抽出します。詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書(9) ユーティリティプログラムについて」をご参照ください。
プロトコル nwf_ck05	wf05(テンプレート情報)の不要データ削除ユーティリティ(nwf_ck05)において、中止(削除)されたテンプレートを削除後経過日数を指定して削除する機能と、起案書類を全て削除する機能(マスターテンプレートだけを残す)を追加しました。詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書(9) ユーティリティプログラムについて」をご参照ください。

プロトコル ls_doc	キャビネット/フォルダーに設定されているデータの保存合計サイズ、およびその配下の登録データ使用合計サイズと使用率を表示するオプションを追加しました。 詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書(9) ユーティリティプログラムについて」をご参照ください。
-----------------	--

ツールキット

tk_ucug	ユーザー/グループ情報の登録/更新/削除 ツールの、ユーザーの処理情報(処理区分09,0C,9C)で、役職コードが変更になった場合、兼任役職を変更しない“-u”オプションを追加しました。オプションを指定しない場合は、役職コードが変更になった場合、兼任情報中で旧役職コードと同じコードのものは新役職コードに置き換わります。 詳細は「GlobalFamily UNIX/WindowsNT版 サーバー側ツールキットマニュアル」を参照してください。
---------	--

SMTPゲートウェイ

unixtopios	エンコード形式がUTF-7、UTF-8形式のメール本文を GlobalFamily Windowsクライアントで参照可能になりました。
------------	---

リアルタイムウイルスチェック

unixtopios	SMTPゲートウェイでウイルス検出またはウイルスチェックエラーが発生した場合に、メール送信者に対してウイルス警告メールを送信するかどうかの指定が可能になりました。 詳細は「リアルタイムウイルスチェックオプション 導入・設定マニュアル (4) ウィルスチェックの環境設定」を参照してください。
unixtopios	SMTPゲートウェイでウイルス検出またはウイルスチェックエラーが発生した場合に、該当のメールを指定したディレクトリに退避するかどうかの指定が可能になりました。 詳細は「リアルタイムウイルスチェックオプション 導入・設定マニュアル (4) ウィルスチェックの環境設定」を参照してください。

不具合修正

GlobalMail

プロトコル up_5070 up_5071 up_5072 up_5170 up_5171 up_5172 up_5173	GlobalFamily Windowsクライアントでのメール一覧でソート項目を「文書の種類」または「PCファイル区分」とした場合に、メール一覧が正しく表示されない不具合を修正しました。なお、「文書の種類」、「PCファイル区分」でのソートはサーバーバージョン6.00 以降で廃止されています。ソート項目で「文書の種類」、「PCファイル区分」を選択した場合、「デフォルト値」でのソートとなります。
プロトコル up_815260	配布コードの参照セキュリティを931項目を超えて登録した場合、932番目以降のセキュリティが参照できない不具合を修正しました。

GlobalSchedule

プロトコル up_81a460 up_81a462	スケジュールコード参照で、スケジュールコードのセキュリティが389件以上かつスケジュールのデフォルトセキュリティが0件の場合、セキュリティ情報を全て返せない不具合を修正しました。
プロトコル up_81a070 up_81a071	スケジュール一覧で、24時間を超えるスケジュールがスケジュール表示期間開始日より前からスケジュール表示期間開始日まで登録されている場合に、そのスケジュールが一覧に表示されない不具合を修正しました。
プロトコル up_81a840	会議開催スケジュールの更新で、参加メンバーから削除されたユーザーに対して送信される会議中止メールの内容が、更新前でなく更新後の内容で送信されてしまう不具合を修正しました。
プロトコル up_81a841 up_81a842	会議開催スケジュールの登録または更新で、参加者と場所／施設を合計で3,609件以上指定すると、システムエラーが発生してしまう不具合を修正しました。
プロトコル up_81a468	スケジュールコードを名称で参照する場合、同じ名前のユーザーが多数(1,000人程)存在する時にデータベースエラーが発生してしまう場合がある不具合を修正しました。
プロトコル up_81a468	スケジュールコードを名称で参照する場合、同じ名称のスケジュールコードを全て返せない(名称により異なりますが367～839件まで)不具合を修正しました。

GlobalForum

プロトコル up_e892	会議室の複写を行った場合に、複写元の発言がハンドル名で投稿されていた場合に投稿者名がグレー表示(ハンドル名投稿扱い)される不具合を修正しました。なお、会議室の複写を行った場合は、複写された発言の投稿者は会議室の複写を実行したユーザーとなります。
プロトコル up_81e370	一覧セキュリティしか持っていない会議室配下の子会議室が「最新投稿の会議室」一覧に表示される不具合を修正しました。

GlobalFlow

プロトコル up_fb30	自動発番するときに遂行エラーが発生すると、エラーを解除後に遂行しても接頭語が付加されない不具合を修正しました。
プロトコル up_fb30 up_f732	マスタープロセス(インスタンス情報)を更新中に、起案すると不正なプロセスになる不具合を修正しました。起案するタイミングでマスタープロセスが更新中 だった場合、以下のメッセージが表示されます。このメッセージが表示された場合は、マスター更新後に起案してください。 「指定されたプロセスは他のユーザーにより更新中です。」 なお、この機能はGlobalFamily Webクライアント4.00R09以降で有効となります。
プロトコル up_f440 up_f441	

up_f443 up_f444 up_f445 up_f446 up_f447	文書通し番号が指定されているテンプレートを複製して、文書通し番号を元の値より小さく設定しても有効にならない不具合を修正しました。
プロトコル up_81f471 up_81f772 up_81f470 up_81f770 up_f470 up_f472 up_f770 up_f772	上位継承する/しないが混在しているグループ階層の場合、テンプレート及びプロセスの上位継承が正しくチェックできていない不具合を修正しました。
プロトコル up_81f471 up_81f772 up_81f470 up_81f770 up_f470 up_f472 up_f770 up_f772	マスターテンプレート・プロセスの最終更新者だった場合、管理者権限を失っても更新可能一覧に表示される不具合を修正しました。
プロトコル up_f733	マスタープロセスを複製した場合、登録者・更新者情報が複製元のままとされている不具合を修正しました。
プロトコル up_81f471 up_81f772	プロセス・テンプレート一覧の次頁を表示中では、「最新の情報に更新」が有効とならない不具合を修正しました。なお、この機能はGlobalFamily Webクライアントは4.00R11以降で有効となります。
プロトコル p_fb30 up_fc70 up_fc72 up_fc74 up_fc75 up_fc76 up_fc79 up_81fc70 up_81fc72 up_81fc73	自分宛て書類およびグループ進捗一覧で、現遂行者・現インスタンスの情報が不正になり、通過したユーザーの自分宛て書類が残る不具合を修正しました。この不具合は、以下の条件を全て該当している場合に発生していました。 ・同一ユーザーが連続遂行する場合、2回目以降の遂行省略が「する」の設定 ・宛先インスタンスが直前者を含んだ複数宛先インスタンス ・複数宛先インスタンスは、全員の遂行が必要ない
プロトコル up_fb30	メールインスタンスおよび書類からのメール送信で、インターネット宛先を指定された場合、Toアドレスが設定されない不具合を修正しました。
プロトコル up_fb30	保存インスタンスの保存者が「テンプレート管理者」で、テンプレート管理者が複数存在した場合、最初に見つかったユーザーに文書登録権限がないと保存ができない不具合を修正しました。保存者は、所属グループの「テンプレート管理者」→「グループ管理者(所属グループに直接指定されているユーザーのみ)」の順に調べ、最初に見つかった文書登録権限を持っているユーザーとなります。

<p>プロトコル up_fb30</p>	<p>ビューワーデータおよび拡張XML出力時に、処理者の所属が代表グループを指定していても、代表グループにならない不具合を修正しました。</p>
<p>プロトコル up_81f841 up_f841 up_f846 up_fb30 up_fb32 up_fb35</p>	<p>拡張XML出力機能を有効にした場合、メールインスタンスでCSVファイルを設定すると、不正なCSVファイルが送信される不具合を修正しました。</p>
<p>プロトコル up_81f841 up_f841 up_f846 up_fb30 up_fb32 up_fb35</p>	<p>マスターテンプレート／プロセスを更新するときに、更新者の更新セキュリティを削除した場合、他のセキュリティもなくなってしまう不具合を修正しました。なお、更新セキュリティが削除された後は更新できません。</p>
<p>プロトコル up_fb34</p>	<p>複数ユーザーがいて全員の遂行が必要なときに誰かが遂行をする、個人デッドライン処理が遂行された日から再計算され、督促メールが依頼通知を受けてからの日数で送られない不具合を修正しました。</p>
<p>プロトコル up_fb30</p>	<p>宛先変更不可のテンプレートを利用して起案するときに、マスタープロセス更新中(インスタンス構成更新中)だった場合、起案に失敗した書類が処理中の状態となる不具合を修正しました。なお、起案に失敗した書類は削除書類となります。</p>
<p>プロトコル up_fb30</p>	<p>ワークフローの遂行依頼メール等を本システムメール以外に送ると、Subjectが文字化けする不具合を修正しました。全角→半角→全角のように文字種が交互に出現し、ISO2022文字列変換時に76バイトを超過する場合で発生していました。</p>
<p>プロトコル up_fb30</p>	<p>書類名連携(NM_で始まる項目)を行っている場合、160バイト以上の名称で連携すると、連携後の遂行時に「書類名は160バイト以内で入力してください。」のエラーが発生する不具合を修正しました。なお、188バイトを超過している場合は、書類の連番が不正となっていました。この修正により、書類名は160バイトを超える部分は切り捨てられます。</p>
<p>プロトコル up_fb30</p>	<p>拡張XML出力時に、通常のXML出力データがない場合XML出力されない不具合を修正しました。</p>
<p>プロトコル up_bg</p>	<p>起案/遂行をバックグラウンド処理する設定で、分離後にフォルダーへの保存インスタンスがある場合、文書登録権を持たないユーザーでも文書保存できる不具合を修正しました。</p>
<p>プロトコル up_f460 up_f741 up_fb33</p>	<p>バックグラウンド処理中の書類に対して、一括遂行や書類を開いての操作ができる不具合を修正しました。起案/遂行をバックグラウンド処理を「する」の設定で運用されている場合、バックグラウンド処理中の書類を開いても操作ボタンが表示されないようになります。一括遂行では、処理者が処理中状態にしてブラウザを閉じた書類も、遂行できなくなります。処理者が処理中状態にしてブラウザを閉じた書類は、再度書類を開いて遂行してください。</p>
<p>プロトコル up_fb32</p>	<p>アンケートシステムで、マスターテンプレートが削除されると、アンケート終了・削除ができなくなる不具合を修正しました。</p>

基本性能

プロトコル up_2464 up_812060	グループ管理者拡張機能が有効になっている場合に、システム管理レベルの設定が「ユーザー、システムに関する処理」<「グループに関する処理」となっている場合に、「ユーザー、システムに関する処理」のシステム管理レベルを満たすユーザーがユーザー管理画面で他ユーザーの情報の参照・更新ができない不具合を修正しました。
-------------------------------	--

ユーティリティ

chg_domain	-deft オプションを指定すると、マスタープロセスおよび書類が更新中になってしまう不具合を修正しました。
up_delu	不在ユーザー/グループの不要データの削除で、以下の情報が削除されない不具合を修正しました。 ・削除されたユーザーが他ユーザーの上位者/代理遂行者に設定されていたデータ ・削除されたユーザーがグループ管理者/テンプレート管理者/プロセス管理者に設定されていたデータ
dfs_ckfi	キーワード項目データの整合性チェックユーティリティで、フォルダーキーワード項目のリンク情報を再構成する際、不正なデータを設定していた不具合を修正しました。 この不正なデータは、dfs_ckfi 実行の度にリンク情報の再構成を行うようになりますが、それ以外の動作には影響ありません。本バージョンの dfs_ckfi を実行することで正常なデータに置き換わります。

ツールキット

tk_ucug	9B区分にてグループ管理者を指定しない場合、グループ管理者に不正な値が設定される場合がある不具合を修正しました。
tk_ucug	9B区分にてコード変換テーブル(GA99)の使用しない部分に拡張グループコードが登録される不具合を修正しました。
tk_smail	配布コード宛にメール送信した場合にメールヘッダーの宛先情報が正しく設定されない不具合を修正しました。
tk_smail	配布コード宛のメール送信で、配布コードのメンバーがコピーフォワード設定をしているとメール送信一覧で正しくメールが表示されない不具合を修正しました。

SMTPゲートウェイ

unixtopios	メール一覧でインターネットメールのSubject(文書名)が文字化けする、および不要な空白が入る不具合を修正しました。
------------	---

仕様変更

Oracle8.0対応

GlobalFamily サーバー全般	データベース Oracle 8.0 対応版(H版)の製品リリースを終了しました。
GlobalFamily サーバー全般	サーバーOS HP-UX 11.x(I版)の製品リリースを終了しました。